

## 新学習指導要領を踏まえた学習指導と学習評価の在り方について

4月27日(水) 戸塚公会堂  
初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 大塚 健太郎氏

4月27日(水)に、戸塚公会堂にて、初等中等教育局教育課程課教科調査官 大塚健太郎氏による講演が行われた。今回は、久しぶりの集合研修とあって、大勢の参加者が熱心に、お話を耳を傾けていた。

少ない誌面ではあるが、講演の内容を紹介する。

### 学習指導要領で目指すこと

三つの力「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育む。国語科の目標に、「できるようにする」とあるように、学習者主体であることをより意識していく。

### 主体的・対話的で深い学び

授業改善の視点である。「主体的・対話的で深い学び」とは何か。教師自身が、どのようなときに主体的であったり対話的であったりするか考えてみるのが、子ども視点で授業を構想するときのヒントになる。

### 言葉による見方・考え方を働かせる

言葉への自覚を高めることである。立ち止まってみたりこだわってみたりする。例えば、赤と青の間の色は、何か。赤と青の間には無限に色があるが、「紫」という語を知らないと表現できない。だから、「赤っぽい青」とか「青っぽい赤」などの表現しかできない。そこに、「紫」という言葉を獲得すると、その色を言葉で表現することができる。すると、「赤」と「黄」の間の色は何と表現するのだろうか、と思考は働く。「言葉による見方・考え方」が働くようになっていく。

### 学習評価について

児童生徒の学習の改善、教師の指導改善につながるものにしていくことが大切である。また、内容のまとまりごとの評価規準を作成することもポイントである。必要性・妥当性が認められないものは見直していく。

### 実践の紹介の中から

教材研究を行うことで、見えてくるものがある。(全部を子どもに示す必要はない。子どもの言葉を拾いながら、どれがいちばん効果的かを考えるとよい。)ぜひ、たくさんの先生とディスカッションできるような研究にしてほしい。

(情報活用部 青木 寛)

今年は、ホームページを一新し、皆様により使いやすく便利なホームページの作成を目指していきます。随時更新しておりますので、ぜひ見ていただけたらと思います。

横浜市小学校国語教育研究会

横浜市立浜小学校  
TEL: 045(761)0171  
FAX: 045(761)9409

QRコードからホームページにアクセスをお願いいたします。  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/kenkyu/es-kokugo/index.htm>



# はまの国語

## 目次:

### 1 巻頭言

### 2~3 各部の本年度の活動方針

### 4 はまの国語NAVI

## 「言葉の宝箱」

浜小学校 校長 谷口 孝雄



この2年、コロナ禍の影響で、どのようにしたら研究会が実施できるのか、会員のみならずと創意工夫を重ねてまいりました。現在は、大きな制限は解除となりましたが、まだまだ、先が見通せたわけではありません。そのような状況が続くなかでも、この研究会が、教師としての力を高めることのできる場として、また、会員と会員をつなぎ、共に学び、語り合える場としてあり続けることが大切であると考えております。感染症対策が続く状況下ではありますが、研究会会員の皆様と、さらに研究の歩みを進め、研究主題の実現に向かってまいりたいと思います。

国語の教科書には、「言葉の宝箱」のページが設けられています。「言葉の宝箱」には、発達段階に応じた「大切な言葉」が数多く提示され、言葉との出合いの場にもなっています。使える言葉の量を増やすだけでなく、語を適切に使いこなす力、語を選んだり、言葉について考えたり、思考や読解などに生かしていくといった質的な力が必要とされています。

そうした力は学習だけでなく、日常生活のコミュニケーションを通して培われていきます。その中で、子どもたちが、自分の話している言葉に関心を持ち、日常の言葉づかいを大切にしようとする気持ちを育てていかなければなりません。大事なことは“相手の気持ち”を考えることです。相手のことを考えた「適切な言葉」を自然に交わすことができるようになれば、相手への気配りや思いやりの心が芽生え、その繰り返しの中で、温かい人間関係が築かれていくものと思います。言葉が引き起こす感情に気づき、やさしい言葉を進んで使う雰囲気がつくれるように、「やさしい言葉」の上手な使い手を増やしていかなければなりません。一人ひとりが自分らしさを発揮し、また互いのよさを響かせ、高め合いながら、心豊かに成長してほしいと願っています。

本研究会の活動につきましては、各区の国語研究会を代表する先生方、また、横浜市教育委員会をはじめとした講師の皆様、様々な場面でご協力をいただいておりますことを、あらためて感謝申し上げます。

横浜市小学校国語教育研究会の礎を築いてくださった歴代会長をはじめ、会の発展にご尽力された皆様に敬意を表し、会員の皆様とのつながりを大切にして実践研究をすすめてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

# 各部の本年度の活動方針

## 授業改善部

部長 日下小学校 橋本 佳子



授業改善部では、「言葉による見方・考え方を働かせ、確かな資質・能力を身に付ける国語科学習の創造～深い学びに到達する「見方・考え方」を踏まえた単元づくりの在り方～」を研究テーマに掲げ授業研究を進めています。

今年度は、1～6学年の6部会に分かれて6月、10月、1月にそれぞれの部会で会員の方に提案を頂き研究を深めていきます。

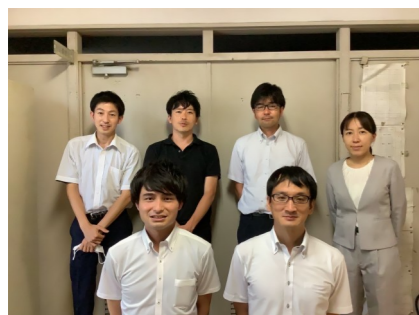
実践提案では、言葉による見方・考え方を働かせて確かな資質・能力を身に付ける子どもの姿を具現化するための①～⑥の視点について、「子どもの姿の見取り・有効だった手立ての分析」を中心に、確かな資質・能力を身に付ける国語科学習の在り方について考えていきます。

今年度の授業改善部は、ココが違う！

- ① 5月に、各学年部会による授業・年間指導計画づくりワークショップを実施しました。  
**みんなが参加！実践提案者も全部会、立候補で決まりました！**
- ② 3回の実践提案では、各学校がこれから取り組むであろう教材を取り上げ、みんなで授業改善のアイデアを出し合えるようにしています。  
**授業を先取り！**
- ③ 毎月、定例会開始前の15分間（15：30～15：45）に、低・中・高学年ブロックに分かれて、ワークショップ型研修を行います。豊富なご実践をお持ちの校長先生方を講師としてお招きし、明日の授業づくりに生きるテーマ・内容を取り扱っていく予定です。  
**毎回素敵なお土産が！**

## 研究推進部

部長 三保小学校 横田 和之



国語科では、子どもが日々の学びの中で「言葉による見方・考え方」を働かせることが、育成を目指す資質・能力をよりよく身に付ける上で大切です。研究推進部では、授業改善部と連携を図りながら、「言葉による見方・考え方を働かせ、確かな資質・能力を身に付ける子どもの姿」の具現化を目指し、研究に取り組んでいます。

昨年度は、「言葉による見方・考え方を働かせるマトリックス」を活用しながら、指導事項と学習過程の中で「言葉による見方・考え方を働かせている子どもの姿」を捉えることへの検証に取り組ましました。

「言葉による見方・考え方」を子どもがよりよく働かせている授業のためには、指導事項と言語活動との適切な整合性が図られていることが大切です。これからの社会において求められる国語科学習の形を追究していきます。

### ◆指導資料編集に向けての活動予定◆

- 子どもが「言葉による見方・考え方」を働かせて、いきいきと学ぶ国語科授業に必要な要素の検討。
- 研究推進部の部員による実践提案。
- 授業改善部との連携（7月の合同研究会をはじめ、連携を密に図りながら実践を通して理論構築を行う）

## 研修部

部長 二谷小学校 萩原 祐介

教師の国語科授業力向上をねらう場として「授業力アップセミナー」を開講し、昨年度も多くの方々に受講していただきました。今年度も授業改善支援センター【ハマ・アップ】と共催のセミナーを計画するなど、内容の充実を図ったセミナーを開催いたします。毎回、指導主事の先生や各学校でご活躍されている先生方を講師としてお招きし、「明日からの実践で活かせるもの」をテーマに企画・運営をしています。今年度も多くの皆様の参加をお待ちしております。



部長・副部長

## 作文・文集研修部

部長 箕輪小学校 竹嶋 司

文集「よこはま」では、子どもたちに読んでほしい作品や学習の手本となる作品、そして、きらりと光る表現や当該学年らしい表現が使われている作品を選ぶことを編集方針としています。今年度も全学年の作品を1冊にまとめて発行します。校長先生方、役員の先生方のお力添えをいただきながら、書いた子どもたちの思いを大切に編集作業を進めています。また、今年度は、学年部会との連携を強め、情報を発信したり活用実践を広げたりしていきたいと考えています。書くことの価値を実感できる、「使える文集」をめざします。



部長・副部長

## 書写部

部長 今宿小学校 二瓶 和馬

書写部では、教員の研修の場として書写指導の素地を養うための「書写実技研修」と授業提案、授業力アップセミナーの講座、児童の書写学習の成果の場である「市児童書写展」の企画・運営を行います。

【書写実技研修】令和4年7月28日(木) 技能文化会館

書写指導のポイントや水書指導についてなど、実技を通して普段の授業で活かせる研修を行います。

【授業力アップセミナー】令和4年11月2日(水) 「書写編・毛筆指導について」

【横浜市立小学校児童書写展】令和5年1月18日(水)～23日(日) 横浜市民ギャラリー

- ・書写の時間に書き上げた書写作品を展示し、鑑賞を通して作品を見る目を養ったり、自他の作品のよさに気付いたりできるようにします。
- ・小学校国語科書写教育活動について、児童や保護者の方々にご理解をいただける場となるようにします。併せて、中学校書写展も開催されます。



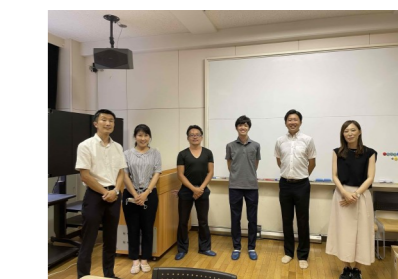
部長・副部長

## 情報活用部

部長 小机小学校 有光 鉄男

情報活用部は、研究会の活動についての情報発信を行っていきます。今年度は、特に、ホームページを随時更新し、使いやすくしたいと思います。市研の様々な情報をホームページにアップしますので、ぜひご覧ください。

年度末には、研究収録「いきいきはまの国語」も発行する予定です。みなさまよりご意見やご感想、情報をお寄せいただければ幸いです。



部長・副部長